

変体仮名を学ぶ

締切り 八月二十五日(必着)



※高野切第三種・粘葉本和漢朗詠集などから集字しました。  
※左下の活字は字母を示しています。

【お願い】 出品数が大幅に増加しました。事務処理の正確を期すため、会員番号・成績も「記」  
入くださるようお願いいたします。

◎平安時代以来、一音についてたくさん  
の仮名が使用されてきましたが、  
明治三十三年(一九〇〇)、小学校令  
により一字一音に整理、統一されま  
した。この仮名を平仮名とよび、そ  
れ以外の仮名を変体仮名とよび区別  
しています。

◎仮名を習う場合、まず一字一字をしっ  
かり習熟することが大切です。初心  
の方はもちろん、ベテランの方も今  
一度初心に返って仮名を学びましょ  
う。

◎作品の出し方

上掲の図版で示した三行を書いて下  
さい。

▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二

mm)程度の紙に書いて下さい。

※こどものひろば四行用紙も可。

※用具は自由(黒色に限る)

▼毛筆部 かな用半紙に臨書して下さ  
い。(拡大臨書可)

▼出品制限の対象とはしませんので、  
どなたでも出品できますが、硬・毛  
のどちらか一方に限ります。

▼支部名と氏名を必ず記入のこと。

▼優秀作品数点を、写真版として成績  
表の後ろに掲載しますが、成績表で  
の順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

精神特権尊敬

円味とリズムよく書こう

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

老いて為敵やれること

特権のひとは

精神の一為美しい

おか だ りゅう ほう 書  
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

安定よく

安定よく

謙	偉	す	
虚	大	べ	
で	な	て	
あ	人	の	
る	々		
	は		

おお たに せい じょう 書  
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆9月課題予告(行書)  
青春の失策は  
壮年の勝利よりも  
好ましいものだ
- ▼教範・書範⇨楷書
- ▼師範⇨行草または草書

★精神の：(書体⇨行草または草書)  
スタンダール(二七三〜八四)  
フランスの作家 『恋愛論』より  
若いころに十分な教育を受け、社会的にも精神的にも豊かな人生を送った人は、老いた時にみな尊敬されるものであるという意味です。  
スタンダールの時代は女子教育がまだ発達しておらず、男女平等の教育の必要性を提言していました。

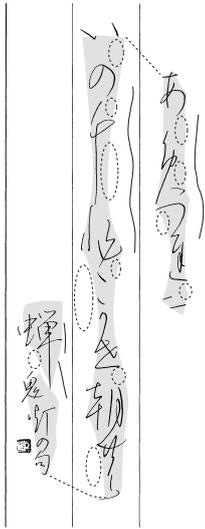
- ◆9月課題予告(楷書)  
太陽が  
照っている間に  
干し草を作れ

★すべて：(書体⇨行書)  
レッスング(七三〜八二)  
ドイツの劇作家・批評家  
謙虚であることは難しいことです。  
日常でも、つい我を通してしまったり、中途半端な知識をひけらかしてしまします。しかし人並み外れた有能な人々は、その知識の豊富さ由に、「自分は何も知らない」ことを自覚し、他人の言葉に謙虚になって耳を傾けることが出来るのです。

準初段から六段まで

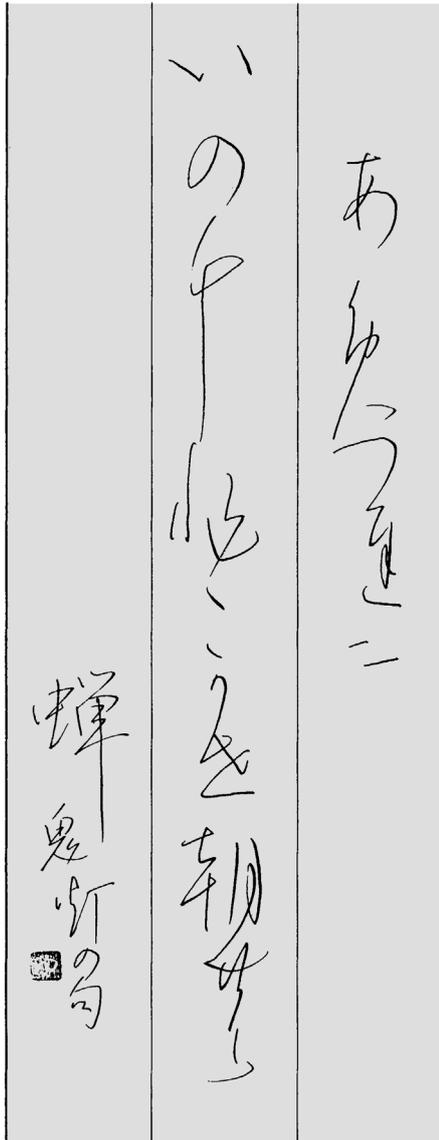
新入から1級まで

〔解説〕



○ 行の流れを見ながら進めて下さい。  
空間を設けておらかなムードを醸すように。

乾坤にいのちひゞかせ朝の蟬

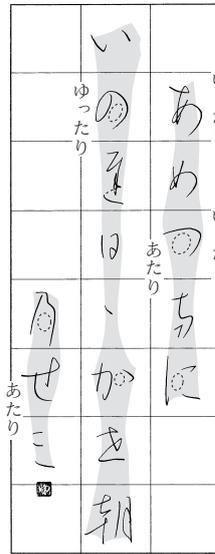


お萩 田 蒼 仙 書

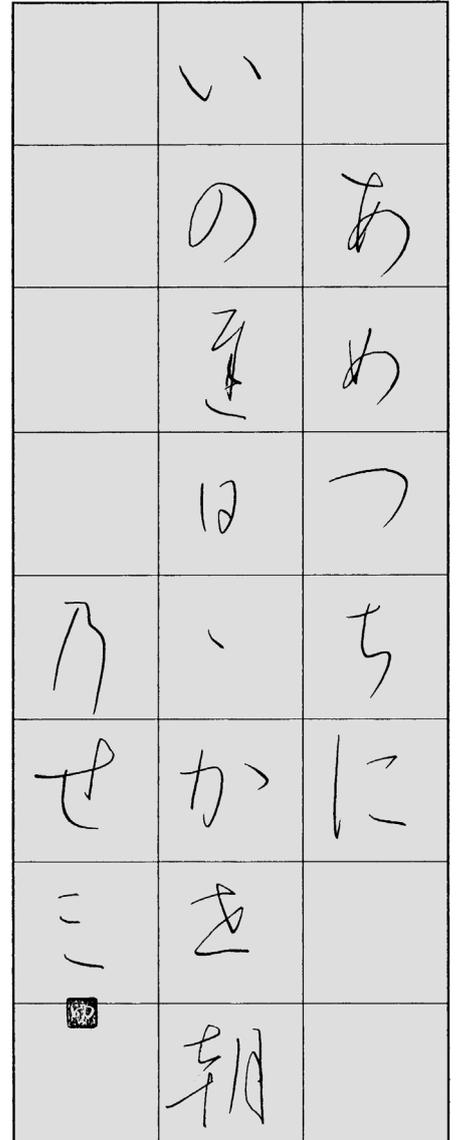
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



乾坤にいのちひゞかせ朝の蟬



お萩 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

乾坤にいのちひゞかせ朝の蟬 (水内鬼灯)

〔句意〕朝から蟬は天地にひびけとばかり鳴いている。それが生きている証のごとく感じられる。短い生命を燃焼させている蟬への讃歌です。

〔級位ワン・ヒント〕

三舟先生の許に入門した当時の、自分の半紙四文字のかな作品を見て、かたくて重いのに驚きました。その反省に立って

①強く握らないで軽く持つ。

②前のめりにならない。体の重心を心持ち左に(少し左に寄りかかるよう)移すと右手の動きが軽くなり、右回転の線が伸びやかになります。

③転折やあたりの強い起筆の場合、当たってすぐ次に行かないで一呼吸おいて進めると強くなります。



〔段位ワン・ヒント〕

上達の秘訣は、起筆、角度、リズム、紙面に表れない空間での動きを知るために、先輩の書きっぷりを見る事です。講習会にご参加下さり、夫々の先生方の書きぶりを見てコツを学んで本物を掴んで下さい。

◆9月課題予告

秋涼し手毎にむげや瓜茄子

(松尾芭蕉)



締切り 8月25日(必着)

おいしいフルーツ大福の御礼に、  
自家製のトマトをお送りします。  
今年には長梅雨で、うまく育つのか  
心配でしたが、七月の晴天続きで  
真っ赤な実をたくさんつけてくれ  
ました。お店にも負けませんよ。

おいしいフルーツ大福の御礼に、  
自家製のトマトをお送りします。  
今年には長梅雨で、うまく育つのか  
心配でしたが、七月の晴天続きで  
真っ赤な実をたくさんつけてくれ  
ました。お店にも負けませんよ。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お か じ ま け い せん  
岡 嶋 桂 川 書

桔梗は、夏から秋にかけて気品の  
ある青紫色の鐘形花を咲かせる。

千葉県浦安市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日 (必着)



【出典】集字聖教序 (672) 【筆者】王羲之法書より集字  
 【読み】 ひゃくじゆう 百重の寒暑に霜こしも (雨を) 躡ふみて



【読み】身閑かなるを自ら貴と為す  
 【大意】身は清閑であって貴しとする

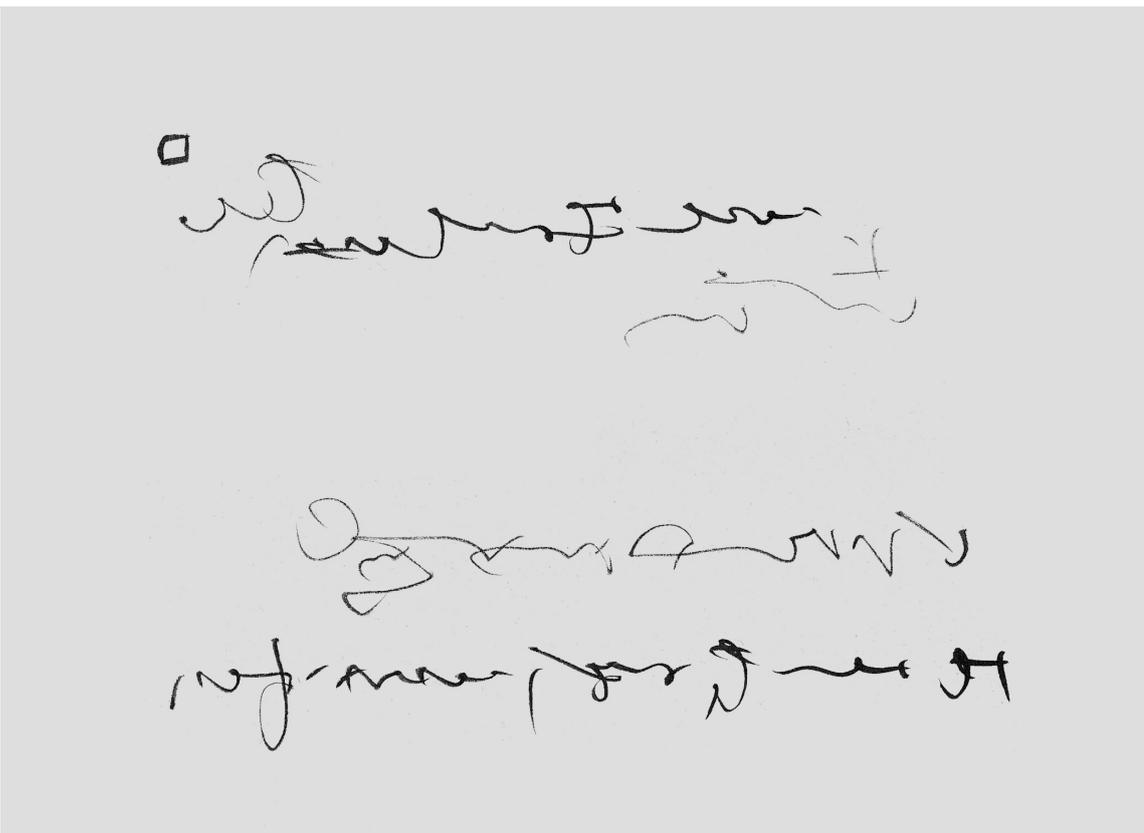
準初段から師範まで  
 奥村暢之臨

新入から1級まで (行書)  
 澤静雨書



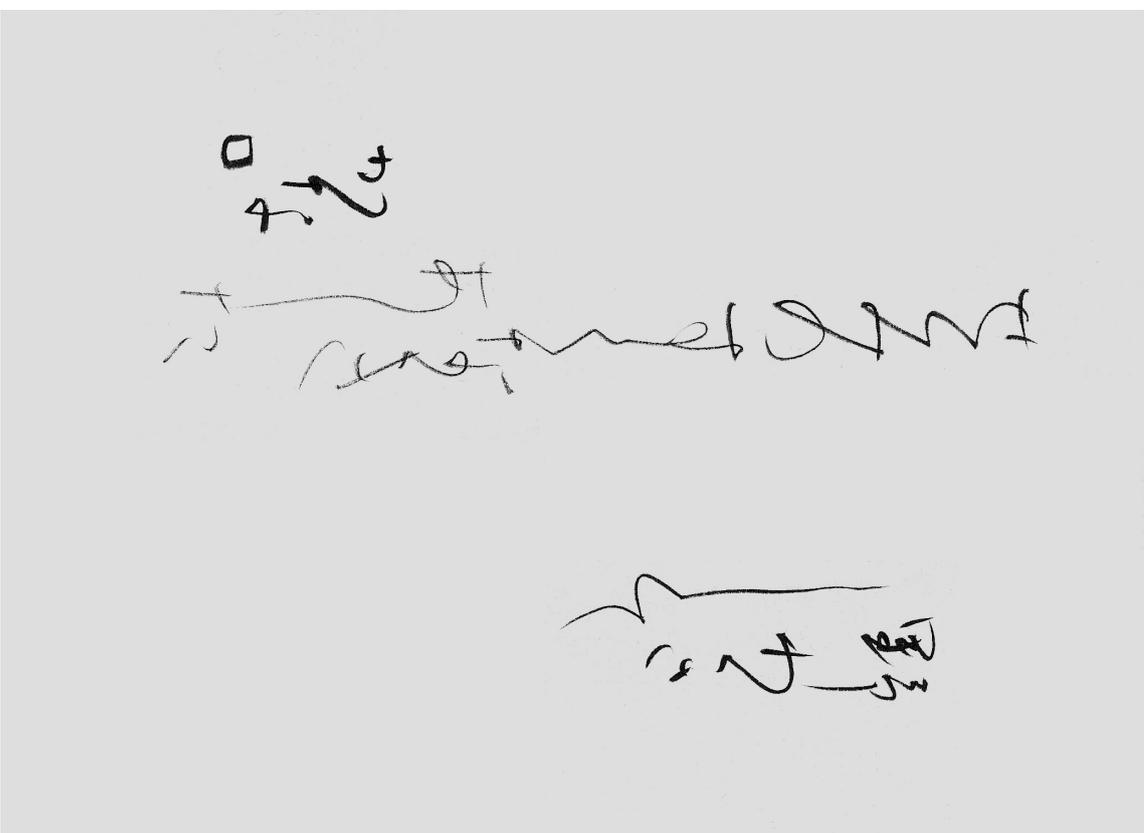
# 一般部毛筆かな課題

締切り 8月25日 (必着)



準初段から師範まで

野分して蟬の少きあしたかな



新入から1級まで

浅井機山先生書

秋<sup>あき</sup>きぬと目<sup>め</sup>にはさ<sup>さ</sup>やかに見え<sup>み</sup>ねども  
風<sup>かぜ</sup>の音<sup>ね</sup>にぞ驚<sup>おどろ</sup>かれぬる

〔出典〕古今和歌集 藤原敏行

〔歌意〕秋が来たたと目にははつきりみえないけれど、耳に聞く風の音には、さわやかに、それと感ぜられる。

〔出典〕正岡子規

〔句意〕野分の後の静かな朝、それまで鳴いていた蟬の声がめっきり少なくなりました。季節の移り変わりを敏感に受け取った句。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題

締切り 八月二十五日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

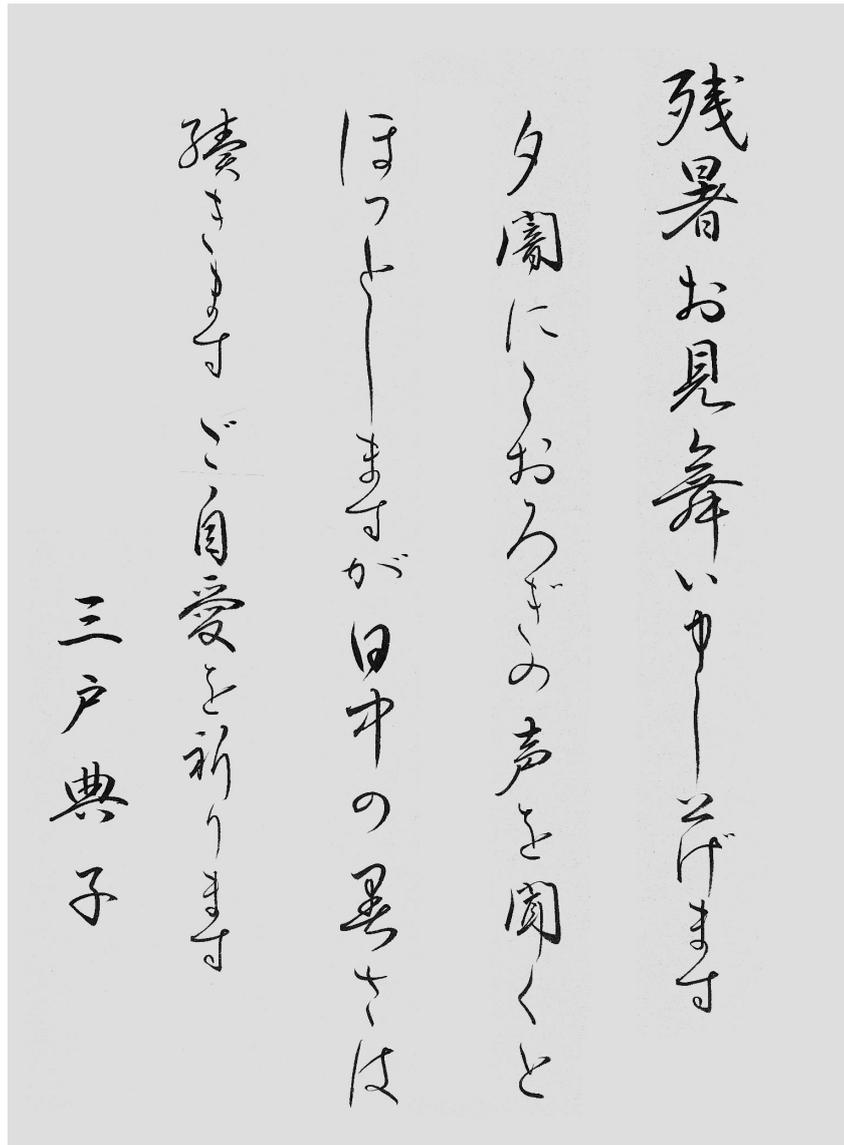


新井清泉書

窓下有清風  
白居易

〔大意〕窓の下には、  
そよそよと吹く涼しい  
清風がある。

初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。



書 兆 春 宮 大

半紙(334mm×240mm)

〔条幅解説〕創作への展開!!今月は一行書きです。大小・潤濁・字間を考えながらまとめてみましょう。二行書きの際よりも太い筆の方が書きやすいと思います。  
左の『明清行草字典(二玄社刊)』などを参考にオリジナルな作品を仕上げて下さい。

窓下有清風

残暑お見舞い申し上げます

夕闇にこおろぎの声を聞くと

ほつとしますが日中の暑さは

続きます ご自愛を祈ります

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

て	こ
は	う
な	え
び	ん

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

て	こ
は	う
な	え
び	ん

よ  
う  
年

小三年まで  
三宅容玉書

す	水
る	あ
か	そ
ば	び

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

び	ん	と
す	で	う
る	水	ぶ
か	あ	つ
ば	そ	え

小  
一  
年

準初段以上

〈ようびく〉自由(黒色にかきえる)

て	帰 <small>かえ</small>
夕 <small>ゆう</small>	り
立 <small>たち</small>	の
に	道 <small>みち</small>

新入1級

立	は	帰
に	げ	り
あ	し	の
っ	い	道
た	夕	で

小二年

準初段以上

っ	日 <small>ニツ</small>
た	光 <small>コウ</small>
作 <small>サク</small>	で
物 <small>モツ</small>	育 <small>そだ</small>

新入1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

育	畑	日
っ	で	光
た	大	を
作	き	あ
物	く	び

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

一ニ 开开形形	ギヨウ 形	一ナ 方友	とも 友
	を	ニ 産産産産産	だち 達
一ニ 産産産産産	えら 選		に
	ぶ	ニン 人	

新入1級

※友達・土産||単語としてこのように読みます。

人	産	友
形	に	達
を	小	の
選	さ	お
ぶ	な	土

小四年

準初段以上

一ニ 中虫	チュウ 虫	ソ 祖
ニ 採採採採採	サイ 採	フ 父
イ 集集集集集	シユウ 集	き 木
		のぼ 登(る)

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

採	り	祖
集	や	父
し	こ	と
た	ん	木
よ	虫	登

小五年

(全員)

小四以上 尾郷翠光書

小六年

を	で	天
探	夏	体
し	の	望
ま	星	遠
す	座	鏡

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

鏡	天
星	体
座	望
探	遠

自由(黒色に限る)

中一年 (行書)

を	に	父
作	中	の
り	華	誕
ま	料	生
す	理	日

中二・三年 (行書)

好	い	高
き	緑	原
な	陰	の
読	で	涼
書	大	し

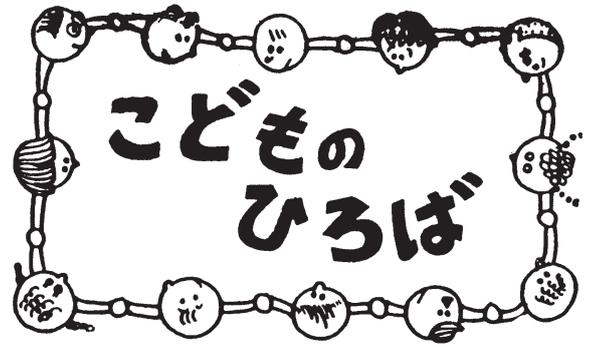
※陰は陰の書写体です。  
◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

▼小三年以下の課題 ひらばやしきせん  
平林輝仙書

追 <small>お</small>	あ	ぼ	ひ	た					
い	っ	く	ま	ね					
こ	と	の	わ	か					
し	い	身 <small>しん</small>	り	ら					
た	う	長 <small>ちよう</small>	は	育 <small>そだ</small>					
よ	問 <small>ま</small>	を		て					
	に			た					



◎お手本はえんぴつ使用

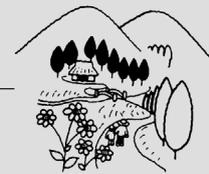


しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 もろおかせいふう  
諸岡清楓書

良 <small>よ</small>	心 <small>こころ</small>	人 <small>ひと</small>	自 <small>し</small>	母 <small>はは</small>					
い	の	も	然 <small>ぜん</small>	の					
村 <small>むら</small>	落 <small>お</small>	温 <small>あたた</small>	が	田 <small>い</small>					
で	ち	か	豊 <small>ゆた</small>	舎 <small>な</small>					
す	着 <small>っ</small>	く	か	は					
	く		で						



※田舎＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、四行用紙に書く場合は、文章を収まりよく短くして下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年く小二年

玉樹たまき  
小華書しょうか





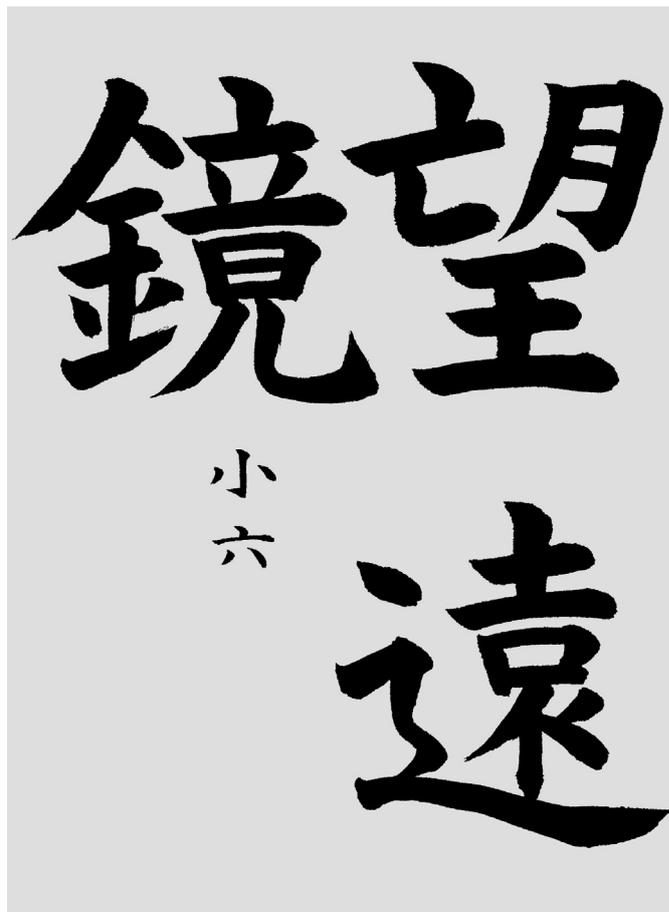
小三、小五年

水野香竹書



小六(中二・三年)

奥村暢之書



※いとへんの行書

※ごんべんの行書

